金沢区心部まちづくり構想　【概要版】　令和 2 年 12 月

第 1 章　金沢区心部まちづくり構想の位置づけ　（本編 p.1 ～）

1　金沢区心部まちづくり構想策定の背景と目的（本編 p.1）

金沢区では、都市計画の指針である「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン『金沢区まちづくり方針』」を平成 30(2018)年 3 月に改定しました。金沢文庫駅から金沢八景駅にかけての区域を『金沢区心部（以下、「区心部」という。）』として新たに位置付け、概ね 20 年後のまちの将来像として、『金沢区心部におけるまちづくり方針』を記載しています。

今後、この方針に沿いまちづくりを推進するため、区心部のまちづくりについて具体的な検討が行えるよう構想としてまとめ、区民と共有するために、「金沢区心部まちづくり構想」を策定することとしました。

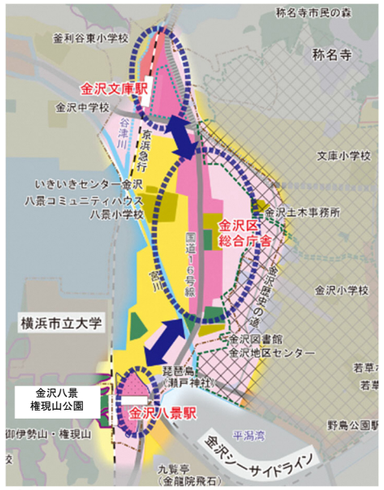
2　金沢区心部まちづくり構想の位置付け（本編 p.2）

横浜市都市計画マスタープラン

全体構想 → 前提 → 金沢区プラン「金沢区まちづくり方針」
L『金沢区心部におけるまちづくり指針』

まちづくりを進めるための方策を整理

金沢区心部まちづくり構想



金沢区心部のエリア
金沢区プラン「金沢区まちづくり方針」より（一部加工）

3　金沢区心部まちづくり構想の構成（本編 p.2）

2章	金沢区心部における まちづくりの可能性と課題	3章	金沢区心部における まちづくり方策	4章	金沢区心部における まちづくりの展開	5章	金沢区心部における まちづくりの実現に向けて

第 2 章　金沢区心部におけるまちづくりの可能性と課題　（本編 p.5 ～）

1　居住・就業人口
- 可能性：産業団地や大学等の立地により、区外から区内への通勤・通学者が多い傾向にある
- 課　題：子育て世帯が流出傾向、広域からの住替えが少ない傾向にある

2　地域資源（自然・歴史資源、公共空間、人材等）
- 可能性：区心部周辺も含めると、自然・歴史資源・人材など地域資源に恵まれた環境を有する
- 課　題：区心部の限られた公共空間を、居心地よく過ごせ、活用できる場所にする必要性がある

3　住まい
- 可能性：交通利便性が高く、自然に囲まれた暮らしやすい住宅地であると区民が認識している
- 課　題：区心部には、住替え需要を満たす多様な住宅が不足している

4　生活環境
- 可能性：スーパーなどの生活利便施設の立地が多く区内でも少ない平坦な地形のため、歩いて生活しやすい地域である
- 課　題：暮らしを豊かにする魅力的な店舗や地域の居場所が不足している

5　働く環境
- 可能性：産業団地との連携や、新しい働き方の創出の可能性がある
- 課　題：働く場の選択肢が少ない傾向にある

6　インフラなどのまちの基盤
- 可能性：金沢区の印象を大きく変えられる可能性のある大規模な土地が存在している
- 課　題：区役所周辺までのアクセスが悪い上、災害対策等の安心・安全面が弱い

7　観光・レジャー
- 可能性：魅力的な観光地、レジャー施設に近接している
- 課　題：区心部には観光・レジャー資源が不足している

8　地域情報の発信・ブランディング
- 可能性：魅力的な地域資源が充実している
- 課　題：区の魅力やライフスタイルなどの対外的なアピールが不足している

第 3 章　金沢区心部におけるまちづくり方策　（本編 p.15～）

1　地域資源を生かしたまちづくり・地域の魅力発信（本編 p.15）

（1）地域資源を生かした活動の創出
- 自然・歴史・文化資源等のもつ歴史的・文化的要素を生かし、地域を楽しむアクティビティを創出します。
- コミュニティ形成につながるワークショップ、イベントなどの活動を通じて、区心部のまちづくり機運を醸成します。
- 様々な世代や立場の住民が心地よく過ごせる居場所や交流できる機会をつくります。

（2）自然・歴史などの地域資源を生かした魅力的な空間の創出
- 海、山などの自然に恵まれた環境を感じながら、自然資源、歴史・文化資源を巡り、区民や区外からの来街者が歩いて楽しめ、快適で魅力的な空間創出を目指します。
- 憩い・交流の場となる広場等の創出を目指します。
- 土地利用・建築物の更新の際には、上記の魅力的で快適性の高い歩行者空間や広場と有機的なつながりを持ちながら、金沢区の歴史的・文化的な要素を生かすなどした魅力的な都市空間や街並み形成を促します。

（3）地域の魅力の情報発信による金沢区のイメージ向上
- 豊富にある魅力的な地域資源を強みとして地域のブランディングを図り、それらを生かしたまちづくりを進めます。
- (1)、(2)の取組も含め、SNS・地域情報誌・ウェブサイト等の様々な媒体を活用し、情報発信・PR するなど、金沢区に住む・働く・楽しむ視点から地域内外から注目されるまちを目指します。
- 区の魅力として広く認知されている観光施設と連携し、区の観光情報や魅力を対外的に発信することで区外（広域）からの流入につなげます。

2　暮らし・滞在を豊かにする機能やサービスの誘導（本編 p.18）

（1）ライフステージの変化に対応できる多様な住まいづくり
- 区民の年齢・世帯構成の変化や、暮らし方・働き方のニーズの多様化に対応できる、様々なバリエーションの住宅を誘導します。

（2）多様な働き方を実現できる場の創出
- 都心に通勤するスタイルだけでなく、地元企業で働く、職場は都心にありながらも自宅近くで仕事ができるなど、ライフスタイルにあわせた多様な働き方を実現できる場の創出を目指します。

（3）日常生活を支えつつ、まちを楽しむことができる機能の誘導

●生活を豊かにし、滞在を楽しむ体験ができる場や機会の創出
- 人々の参画交流を促し地域に開かれた文化的な施設や、一人でも複数でも楽しめる個性的な飲食店やサービス店、気持ちの良い屋外空間など、各々が思い思いに過ごせる場や機会を増やし、区民の生活満足度や区外からの来街者の満足度を高めます。
- 建替え時期を迎える隣接した複数の公共施設の再整備を検討する際は、上記のような体験が実現できる場の創出を目指します。

●日常生活を支えるスーパーなどの生活利便施設や生活サービスの維持・更新
- スーパーや医療施設等の生活利便施設や、高齢者・子育て支援サービス等の日常的な生活サービス施設について、地域の需要を踏まえて適切な更新等を誘導し、区心部での生活利便性を維持します。

3　まちの基盤の段階的な改善（本編 p.21）

（1）区心部のアクセス性向上に資する交通インフラの強化
- 区心部内（区役所周辺～駅周辺）では、快適で楽しい歩行者空間を創出し、人が主役の道づくりを目指します。横浜金沢歴史の道、宮川沿道、国道 16 号など、それぞれの通りの特性を踏まえつつ、更新等の機会を捉えて段階的に進めることで、エリア全体で歩行者ネットワークがつながるよう、魅力的な空間形成を図ります。
- 区心部と周辺地域を結ぶ道路の整備、既存公共交通の改善、多様な公共交通手段の導入により、周辺地域や区内観光施設から区心部へのアクセス性の向上を図りつつ、区心部内の移動もしやすくしていきます。

（次ページへ続く）

3　まちの基盤の段階的な改善（続き）

（２）金沢区の玄関口である金沢文庫駅と金沢八景駅の顔づくり

・金沢区の玄関口として、区民にとって利用しやすく愛着をもてる駅前空間を事業者等と協働しながら形成します。

（３）安心安全に暮らせるまちの基盤の改善

・災害時には防災拠点の機能を担う公共施設（区役所、土木事務所、消防署、警察署など）が集積するエリアでもあるため、自然災害対策など防災性能を向上させるまちづくりを推進します。

・建物や道路など、まちを支えるインフラを整備する際には、ユニバーサルデザイン等に配慮し、あらゆる人が利用しやすいものにします。

第４章　金沢区心部におけるまちづくりの展開　（本編ｐ.25～）

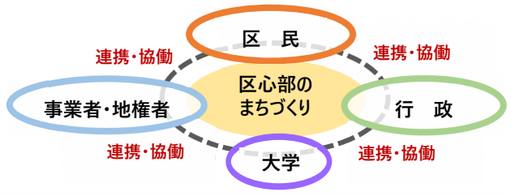
1　まちづくりの段階的な展開（本編ｐ.25）

（１）まちづくりの段階的な展開

（２）まちづくりのターゲットの段階的な拡大

2　まちづくりの担い手（右図参照）（本編ｐ.27）

3　まちづくりの展開イメージ（下図参照）（本編ｐ.29）



第５章　金沢区心部におけるまちづくりの実現に向けて　（本編ｐ.30）

まちづくりの展開イメージを踏まえ、担い手が相互に連携しながら、段階的・連鎖的に各種の取組を展開します。

まちづくりの展開イメージ　まちに変化が生じる機会を的確に捉えながら、段階的・連鎖的にまちづくりを推進します

当　面
既存資源活用による魅力向上・発信とまちづくり機運醸成

短　期～中　期
小・中規模な土地利用の更新のタイミング

中　期～長　期
大規模な土地の更新のタイミング

金沢区心部におけるまちづくり方策

1　地域資源を生かしたまちづくり・地域の魅力発信

2　暮らし・滞在を豊かにする機能やサービスの誘導

3　まちの基盤の段階的な改善

※「まちの魅力創出」場所はイメージであり、具体の土地や計画を示すものではありません

まちづくりのターゲット

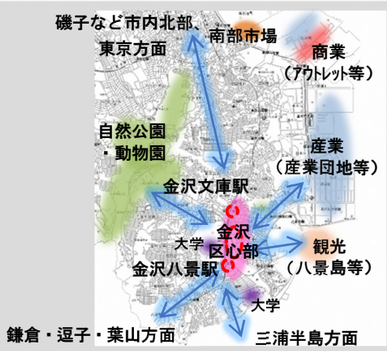
ターゲット１：区民（地域住民）が心地よく暮らせるまちづくり

ターゲット２：区内への通勤・通学者が心地よく暮らせるまちづくり

ターゲット３：遊びに来る人（観光等に訪れる人）がより金沢区での滞在を楽しめるまちづくり

将来像（イメージ）

広域的な連携イメージ

○区心部と周辺地域をつなぐ広域の交通ネットワークの形成

○区心部で、区内各地の情報の積極的な発信・PR